

一般社団法人 日本写真測量学会 関西支部

第10回若手による技術研究発表会 開催報告

日本写真測量学会関西支部では、平成26年9月19日(金)に常翔学園・大阪センター(大阪市北区梅田)を会場とし、『第10回若手による技術研究発表会』を42名(産20人、官1人、学21人)の参加者を集めて開催した。

この企画は、空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる学生あるいは30才以下の社会人を対象とした技術研究発表会である。その目的は、1) 学生においては、修士論文などの構想段階、解析が十分に進んでいない時期に発表会を実施し、多くの人からの意見・アドバイスを論文に取り込める機会を設ける、2) 社会人においては、プレゼンテーションのスキルアップを図る機会を設けることである。

発表は、10編(社会人4編、学生6編)あり、「人の動きと空間情報」、「空間情報の利活用」、「空間情報の計測・抽出」の3つのセッションに分けて行われた。会場からは、鋭い質問や多くの意見が挙がり、緊張感のある充実した質疑応答が行われた。この発表会では、当日参加した本支部全役員の採点に基づき、以下に記す3名(学生1名、社会人2名)に優秀研究発表賞を授与した。ここに記して改めてお祝い申し上げる。例年は学生の受賞が多かったが、今年は社会人多くが選ばれる結果となった。受賞者は、発表会後の懇親会において、柳川支部長より表彰された。懇親会では受賞者が感想を話す場面もあり、和やかな雰囲気の中、閉会した。

本支部は、今後もこのような学生の論文作成に役立つ、若手社会人のプレゼンテーションのスキルアップとなるような技術発表会を続けていく所存である。引き続き皆様のご支援を承りたい。



写真-1 発表会場の様子

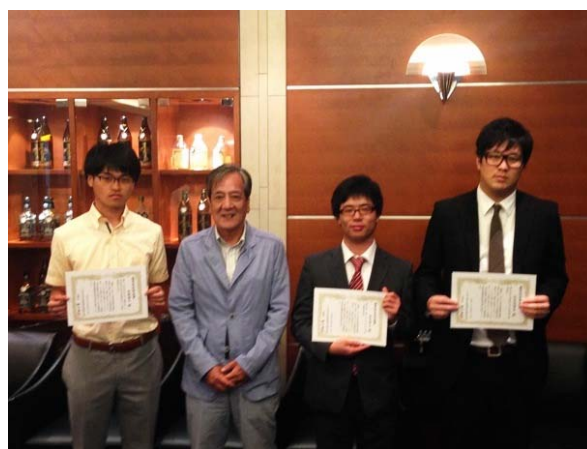


写真-2 優秀研究発表賞受賞者
(左から井関さん、関西支部長、
若木さん、松尾さん)

優秀研究発表賞 受賞者氏名(所属)・題目

松尾佳津史氏(大阪工業大学大学院)・地下公共空間における歩行者の滞留行動

若木伸也氏((株)ズームスケープ)・最小二乗マッチングを用いた斜面の自動変位計測

井関禎之氏((株)パスコ)・ALOS/PALSAR 画像を用いた東北地方太平洋沖地震津波による被災領域抽出の試み